

| | | | |
|---------|---|------|------|
| 科目（講座名） | 生物（発展生物） | 4 単位 | 必修選択 |
| 教科書 | 改訂版 生物（数研出版） | 担当教諭 | |
| 副教材 | スクエア最新図説生物 neo（第一学習社） セミナー生物（第一学習社） セミナー生物基礎（第一学習社） | | |

学習の目標

生物および生物基礎の各分野の学習項目について、知識の定着と理解の習熟を図り、入試問題に対応した学力の習得を目指す。

授業内容

①細胞と分子 ②代謝 ③遺伝情報 ④生殖・発生 ⑤動物の反応 ⑥体内環境 ⑦植物の反応
⑧生態系 ⑨進化・系統について理解を深め、単元を横断した総合的な力を養う。

学習方法

教科書・副教材を用いた基本事項の確認とプリントによる問題演習を中心に行う。
分野ごとに小テストを行い、内容の定着を行う。

評価の観点

| | |
|------------|---|
| 関心・意欲・態度 | 生物や生命現象に関心や探究心をもち、意欲的に学習する態度を見に付けているか。 |
| 科学的な見方・考え方 | 生物や生命現象に見られる事象を実証的、論理的に捉えたり、分析的、総合的に考察したり、科学的に考えることができるか。 |
| 表現・処理 | 実験・観察の技能を習得するとともに、その過程や結果、およびそこから導き出した自らの考えを的確に表現できるか。 |
| 知識・理解 | 生物や生命現象についての基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けているか。 |

評価方法

定期考査における学習の到達度・理解度に加え、小テストや課題への取り組みにおける学習態度・意欲等を総合して評価を行う。

年間計画

| 学期 | 月 | 配当 時間 | 単元 | 学習内容 | 具体的な指導目標 |
|----|----|----------|--------|-----------|---|
| 1 | 4 | 12 | 生物 | 動物の反応 | 各分野の学習項目について、知識の定着と理解の習熟を図る。 |
| | 5 | 10 | 生物 | 植物の反応 | |
| | | 6 | 生物 | 生態系(個体群) | |
| | 6 | 6 | 生物 | 生態系(物質生産) | |
| | | 10 | 生物 | 進化 | |
| | 7 | 6 | 生物 | 系統 | |
| 2 | 9 | 18 | 生物基礎 | 生物の体内環境 | 同分野の学習項目について、知識の定着と理解の習熟を図る。入試レベルの問題に対応できる応用力の定着を目指す。単元を横断して、総合的に考察できる力の習得を目指す。 |
| | 10 | 18 | 生物 | 代謝 | |
| | 11 | 18 | 生物 | 遺伝子とその働き | |
| | 12 | 8 | 生物基礎 | 植生と遷移 | |
| 3 | 1 | 32 | 学習のまとめ | 問題演習 | |
| | 2 | | | | |
| | 3 | | | | |